

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		ごみ一時保管所整備費補助事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	田中 奏子
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款4	項2	目1	事業連番11473	法令根拠	合志市ごみ一時保管所整備費補助金交付要綱 成果優先度評価結果：③ コスト削減優先度評価結果：①	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	犬・猫・カラス等がごみ袋を食い破ったり、ごみが散乱して困るという苦情が寄せられ、ごみ一時保管所(ごみステーション)の整備には費用も掛かるので、ステーションの管理をしている地元の負担を軽減するために平成11年度から実施している。補助金の額は1箇所のごみステーションへの整備に要する経費の1/2(補助限度額は50,000円)。市民からごみステーションに対する苦情は少なくなっている。(ごみステーションの清潔保持がしやすくなった)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	事前協議、補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、請求書受理、支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)、役務費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民(行政区)から、上限額を50,000円より上て欲しいとの要望がある。収集業者から、犬・猫・カラス等によりごみ袋が食い破られて散乱しているとの通報がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	各ごみステーション管理者が設置するごみステーションに対して、整備費用の1/2を補助した(限度額 50,000円) 補助件数 28箇所	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 申請書受理件数	イ	ごみ減量化対策に伴うもので、パトロールや分別周知等に要する時間外勤務手当の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア 人口
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民がごみステーションの管理をしやすくなる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 箇所
		→ ア 助成を受けたステーション数
		イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
不衛生を招き地域の住環境に影響を及ぼすことから区がごみステーションの整備に要する費用の一部を補助することで意図の市民がステーションの管理をしやすくなるに繋がり、成果指標を「助成を受けたステーションの数」とし、設置希望調査により「45箇所」と設定した。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア 件	イ	15	15	45	28	45	30	30	
② 対象指標	ア 人	イ	54,407	54,856	55,300	55,828	55,751	56,222	56,693	
③ 成果指標	ア 箇所	イ	17	15	45	28	40	30	30	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	615	588	2,253	1,010	2,275	2,275	2,275
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	272	272	272
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	272	272	272
		正規職員従事人数	人	4	6	6	7	6	6	6
		延べ業務時間	時間	184	192	300	579	290	280	280
(B) 人件費計	千円	736	764	1,194	2,385	1,194	1,153	1,153		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,351	1,352	3,447	3,395	3,469	3,428	3,428		

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	ごみ一時保管所整備費補助事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)   
 \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 設置希望調査によるものであり目標達成は見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 全ステーションの整備が終わっていない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費が補助金の交付のみである。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 随時受付けている補助金の申請を受付期間を設定することにより削減可能である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全区が対象であり公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 事業費が補助金の交付のみであり適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は28箇所のごみステーション設置に関する補助を行った。現在は予算編成時期までに協議があった分を、翌年度に予算措置し助成事業を実施しているが、協議もなく申請されるケースがあるので、周知徹底を図る。また計画的な予算措置に努める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>転入者による人口増加は今後も続く。自治区においては、ステーションの増設が必要なところと、場所の移設による新設等が出てくるのが予想される。適正なごみ収集運搬業務を実施するためにも、この補助制度は継続して行って行きたい。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>ステーションの衛生面の確保、散乱防止、カラス等の対策に適したステーションを整備されるよう指導していく</p>																						